

残留塩素計(低濃度タイプ) ～水道水、施設管理など～

残留
塩素



ポータブルタイプ



チェッカータイプ

水道水など低濃度のチェックに最適です！

試薬を使用し手軽にチェックできる残留塩素計の中で、水道水(飲料水)、施設管理などの測定では主に低濃度の遊離塩素計が使用されます。また遊離塩素計の中でも機能別で2タイプをご用意しています。1つは“小型で安価なチェッカー” もう1つは“より精度の高い測定が行えるポータブル”です。

チェッカータイプとポータブルの違いは??

チェッカータイプの最大の特長は【デジタル表示の測定器でありながら9,800円(税抜定価)】です。目視で判断する試薬キットをご使用中の方にはおススメです。デジタル表示のため人による読み取り値の差が生じません。ボタンも1つで簡単操作ですので初めての方でも安心してご使用いただけます。一方、ポータブルタイプの特長は【測定器の校正をお客様自身で行える】ことです。バリデーター(標準液セット)を使用し測定器の検証と、もしズレが生じていれば校正が行えます。(チェッカータイプは標準液セットで検証は行えますが、ズレを正す校正機能は備えていません)常に高い精度を維持することができる「校正機能」が最大のメリットです。

測定項目	遊離塩素(低濃度)	遊離塩素(低濃度)/全塩素(低濃度)	遊離塩素(低濃度)	全塩素(低濃度)
品番	HI 96701	HI 96711	HI 701	HI 711
測定 遊離塩素 範囲 全塩素	0.00~5.00mg/L	0.00~5.00mg/L	0.00~2.50mg/L	—
検出単位	0.01mg/L(3.50mg/Lまで)、0.10mg/L(3.50mg/L以上) (HI 96711は遊離/全塩素ともに)	0.01mg/L	—	0.00~3.50mg/L
精度@25℃	±0.03mg/L ±測定値の3%(HI 96711は遊離/全塩素ともに)	±0.03mg/L ±測定値の3%	±0.03mg/L	±測定値の3%
測定原理	DPD吸光光度法(DPD試薬を使用)			
校正	可能(専用バリデーターにて)	不可(標準液セットでの検証のみ可能)		
発光源、受光部	タンガステンランプ、フィルター装置付シリコンフォトセル(525nm)	LED(525nm)、シリコンフォトセル		
電源 (自動電源オフ)	9Vアルカリ電池1個(10分間の未使用后)	単四アルカリ電池1個 (2分間の未使用后および測定終了の2分後)		
サイズ 防水	長さ180×幅83×厚さ46mm 360g 日常防水型	長さ81.5×幅61.0×厚さ37.5mm 64g 防水機能なし		
付属品	アクセサリキットとともにケースに入ったCタイプ、 および本体のみのBタイプよりお選びください。 【HI 96701C、HI 96711C】 本体、測定用ガラスセル&キャップ2組、バリデーター1セット、セル面浄用布、 試薬開封用はさみ、9Vアルカリ電池1個、試薬100回分無償引換票、 ハードキャリングケース、日本語取扱説明書他 【HI 96701B、HI 96711B】 本体、測定用ガラスセル2組、9Vアルカリ電池1個、試薬100回分無償引換票、 日本語取扱説明書他	本体、測定用ガラスセル&キャップ2組、 単四アルカリ電池1本、試薬6回分、 ケース、日本語取扱説明書他		

※製品の詳細や試薬の種類、上記以外の機種は弊社HPをご覧ください。「ハンナジャパン」で検索

遊離塩素、全塩素とは? :

残留塩素には①遊離塩素(ゆうりえんそ)、②結合塩素(けつごうえんそ)、③全塩素(ぜんえんそ)があり、①+②=③となります。①は強い酸化力により殺菌・消毒の力が強く、②の殺菌・消毒効果は①には劣ります。そのため殺菌・消毒効果を判断するための塩素測定には遊離塩素計を使用することが多いです。③も同様に消毒・殺菌効果のチェックとして使用されますが、一方で排水や病院の透析用水として処理した水など塩素が含まれていないことをチェックする用途でも使用されます。